

入学記念品 『国旗』 について

理事長 森 健太郎

御入学おめでとうございます。今日から学芸館で共に学ぶこととなりますが、その目的は自分が望む自分になるため『自己実現』であると同時に、他者のために役立つ『日本という国家・社会への貢献』でなければなりません。

その国家・日本を象徴するのが『国旗・国歌』であります。国を愛することは人間の『土台』であります。教育とはその土台をつくることであります。この国旗や国歌を誇りにしましょう。

そのことを理解していただくために『国旗』を入学記念品として配布させていただきました。

明治・大正・昭和の時代（戦前の日本）は全国民が小学校から、

白地に赤く 日の丸染めて ああ美しや 日本の旗は

朝日に昇る 勢い見せて ああ美しや 日本の旗は

と文部省唱歌「日の丸の旗」を歌い身近な誇り高い歌でありました。

戦後、国旗国歌がおろそかにあつかわれるにしたがい、学ぶ・勉強する目的が自分のためだけになり、社会に貢献する目的が希薄になっていることを非常に憂えています。そうした風潮を改めるための象徴として『国旗』を記念品とさせていただきました。